



東京都水道局の災害対策

―首都東京が直面する脅威からライフラインを守る―





東京都水道局

東京都水道局の災害対策

東京の水道は、約1,400万人の都民生活や都市活動及び首都中枢機能を支える重要な役割を担っています。

一方で、発生の切迫性が指摘されている**首都直下地震**や近年多発している**集中豪雨**、**テロ行為のリスク**など、様々な脅威に直面しています。

東京都水道局では、これらの脅威に対して、水源から蛇口に至る**水道施設の耐震化**や、管路のネットワーク化等による**バックアップ機能の強化**など、**様々な予防対策**を行っています。

また、発災後の**応急給水・応急復旧活動を迅速に実施する体制**を平時から整えるとともに、様々な主体と連携して**実践的な訓練**を重ねることで、一刻も早い平常給水への回復と可能な限りの飲料水の確保を行うこととしています。

水のくみ置きなどの「自助」、地域の連携による応急給水などの「共助」とともに、基幹ライフラインである水道の安全性を高めていきます。

01 予防
地震による断水を起こさない取組

施設の耐震化を着実に進める 01
バックアップ機能を強化する 02
水道管路を耐震化し、断水被害を最小限にする 03

02 給水
断水時に水を配る場所

断水時に水を配る場所「災害時給水ステーション」 04
災害時給水ステーションの確認方法 05
災害時給水ステーション一覧【23区】 06
災害時給水ステーション一覧【多摩地区】 07
今日からできる災害対策（水のくみ置き） 08

03 訓練・救援
断水時にも即時に水供給体制を確保

東京水道危機対応力強化計画 09
断水時にも即時に都民への水供給体制を確保 10
全国の水道事業体からの受援体制 11
被災地への救援隊派遣 12

04 様々な脅威
集中豪雨・テロ行為等への対策

風水害・テロへの対策 13
新興感染症への対策 14

災害発生時の水道情報

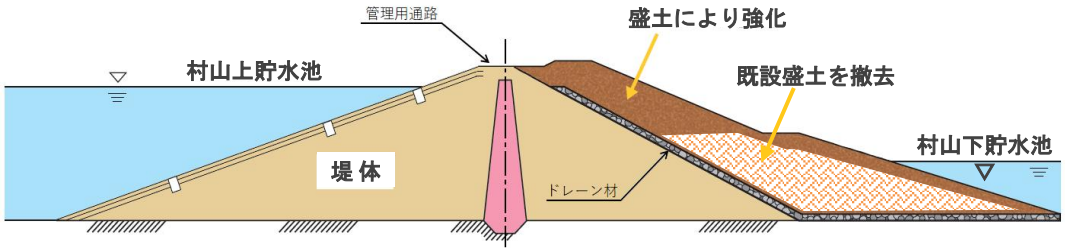
災害発生時の水道に関する情報確認 15

施設の耐震化を着実に進める

01　予防

貯水池及び取水・導水施設の耐震化

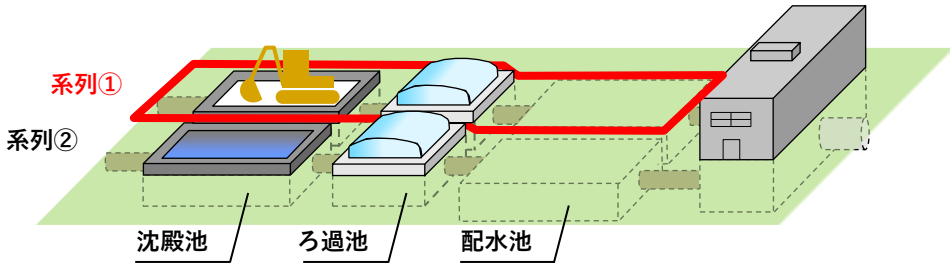
- 都が所有する貯水池のうち、**小河内貯水池**は、建設から約70年以上が経過していますが、耐震診断を行った結果、地震に対しても安全であることを確認しています。
- 山口貯水池及び村山上・下貯水池は、耐震診断を行った結果、貯水機能は損なわないものの、堤頂部の沈下等が生じる可能性があることが確認されました。
- このため、貯水池の耐震性の向上を図る堤体強化を実施し、**山口貯水池**は平成14年度、**村山下貯水池**は平成20年度、**村山上貯水池**は令和５年度に完了しました。
- 一方、取水・導水施設には十分な耐震性を確保していない施設が存在しているため、引き続き、浄水場間でのバックアップなどにより、取水量の低下に伴う給水への影響を抑えながら、取水・導水施設の耐震化を推進します。



▲村山上貯水池堤体強化の概略断面図

浄水施設の耐震化を計画的・重点的に推進

- 首都直下地震等に備え、震災対策を最重要課題と位置づけ、浄水施設の耐震化を計画的に実施しています。
- 浄水施設の耐震化には長い期間と多額の費用を要することから、非常時における水を確保するため、浄水処理の最終段階である「**ろ過池**」や浄水処理した水を溜める「**配水池**」の耐震化を優先的に実施し、**令和元年度末までに概ね完了**しました。
- 現在は、耐震化の効果を早期に発現させるよう、着水井から配水池までの連続性を考慮し、**浄水施設の系列ごとに耐震化を推進**しています。



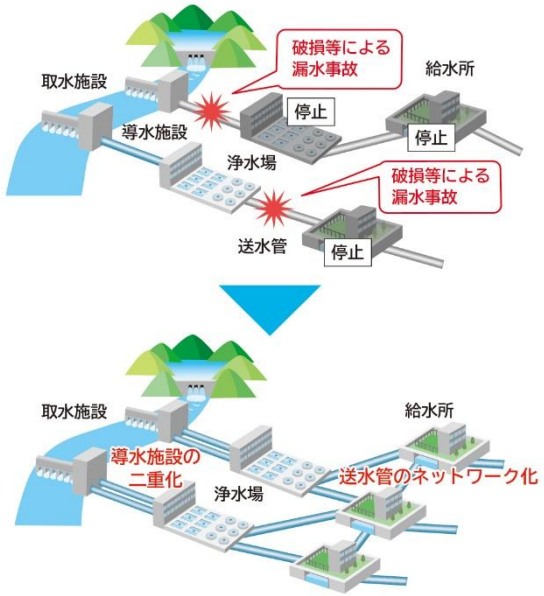
▲系列ごとの耐震化のイメージ

バックアップ機能を強化する

■導水施設の二重化及び送水管のネットワーク化により、バックアップ機能を強化

- 導水施設(河川から取水した水を浄水場に送る施設)及び送水管(浄水を給水所に送る管路)の一部の施設については、災害等で損傷した場合、断水につながるおそれがあります。
- このため、個々の施設が機能停止しても給水を確保できるよう、**導水施設の二重化**及び**送水管のネットワーク化**を進め、バックアップ機能を強化しています。
- 令和6年3月には、**第二朝霞上井草線**の運用開始により、上井草給水所から配水している区部中心部から多摩南部の給水安定性が向上しました。

■導水施設の二重化整備率
R6年度末85%
→R17年度末92%
■送水管ネットワークの整備率
R6年度末85%
→R17年度末91%

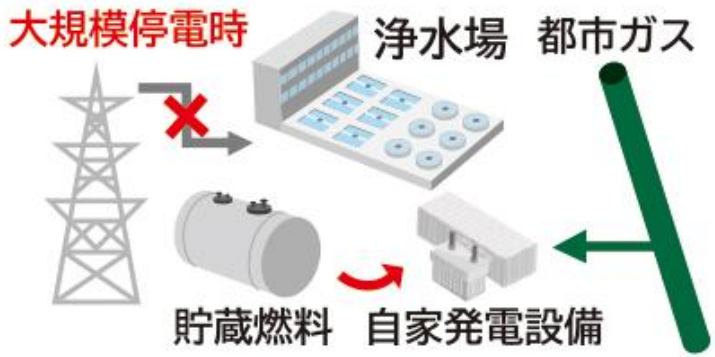


導水施設の二重化及び送水管のネットワーク化のイメージ図

■自家発電設備の新設・増強により、停電時も施設の機能を維持

- 平成23年の東日本大震災では、計画停電の影響により、多摩地区の一部で断水及び濁水が発生しました。
- このため、首都直下地震などによる大規模停電時や電力使用が厳しく制限された場合でも、安定的に給水を確保できるよう、浄水場や給水所等への**自家発電設備の新設・増強**を推進しています。
- また、自家発電設備の稼働に必要な燃料は、**72時間**運転できる量を可能な限り**確保**していきます。

■大規模停電時における給水確保率
R6年度末70%→R17年度末92%
■燃料確保率（72時間）
R6年度末57%→R17年度末85%



▲浄水場における電力自立化

水道管路を耐震化し、断水被害を最小限にする

01　予防

■配水管の耐震化を重点的・効果的に推進

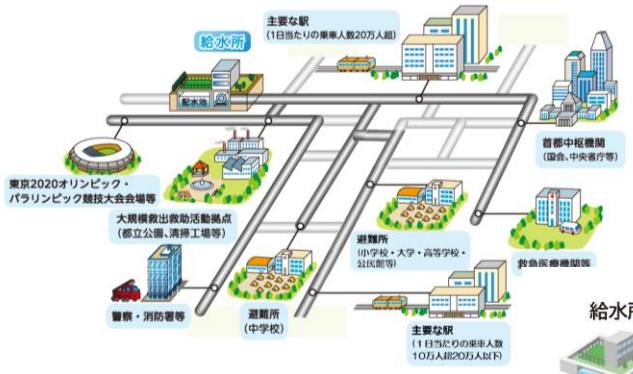
- 配水管（給水所から各地域に水を配るための管）の延長は、約28,000kmにも及ぶため、優先順位を定めて継続的かつ計画的に耐震化（抜け出しにくい管への取替え）を進めています。
- これまでの取組により、**重要施設**（首都中枢機関や災害拠点病院、避難所等）**への供給ルートの耐震継手化は、令和４年度に概成**しました。
- 現在は、都の被害想定で震災時の断水率が高いと想定される地域（**取替優先地域**）や配水小管網の上流側に位置する**地域配水の骨格管路**の耐震継手化を重点的に推進していきます。

■管路の耐震継手率：R6年度末52%→R17年度末66%

■取替優先地域解消率：R6年度末92%→R10年度末100%

■地域配水の骨格管路の耐震継手率：R6年度末55%

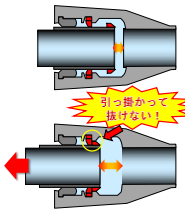
→R17年度末76%



重要施設への供給ルートの耐震継手化（イメージ）



▲耐震継手管吊り上げ実験



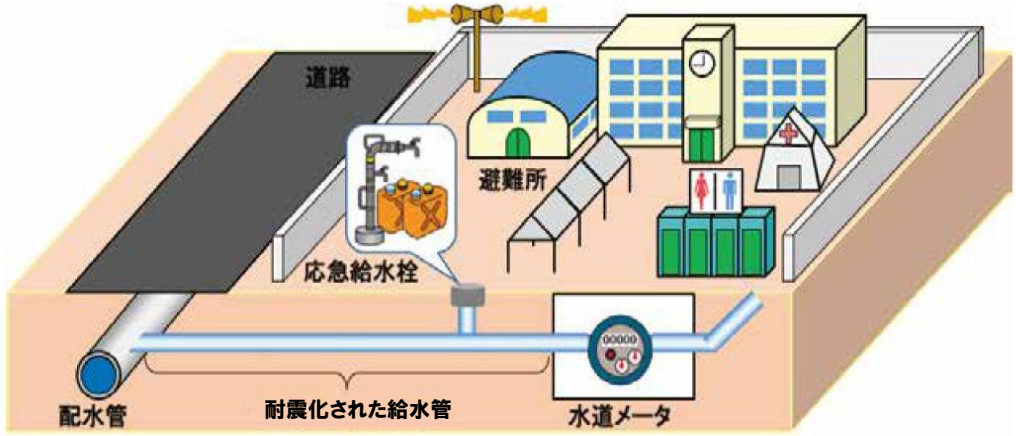
▲耐震継手管の構造



▲地域配水の骨格管路（イメージ）

■給水管の耐震化により、多くの被災者が集まる避難所等での水を確保

- 震災時に多くの人の一時的な生活の場所となる避難所や、帰宅困難者等が多く集まると想定される主要な駅では、給水の確保が重要です。
- このため、**避難所**や**主要な駅**などについては、その重要性を踏まえ、配水管分岐部から**水道メータまでの給水管についても耐震化**を行っています。
- 特に**避難所**では、**メータまでの耐震化された給水管に応急給水栓を設置**しており、建物内の給水管に被害が生じた場合でも、敷地内で給水を確保することができます。



▲避難所の給水管の耐震化と応急給水栓

震災対策（予防対策）を紹介する映像はこちら

断水時に水を配る場所 「災害時給水ステーション」

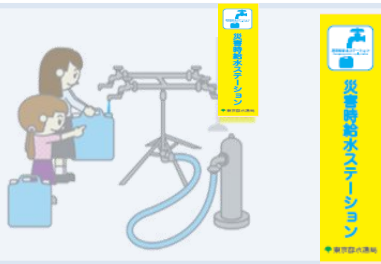
災害等で断水したときは、災害時給水ステーションで水をお配りします。
いざというときに備え、日頃から、お住まいの近くのステーションを確認しておきましょう。



災害時給水ステーションにお越しの際のお願い

災害時給水ステーションにお越しの際は、水を入れる清潔な容器（ポリタンク等）と、それを運ぶためのカートやリュック等をお持ちください。背負えるタイプの給水袋も便利です。

左は、水道施設や応急給水槽に掲示している災害時給水ステーションのシンボルマークです。開設時には、右のイラストのように黄色いのぼりを立てるので、お越しの際の目印にしてください。



■給水拠点（水道施設や応急給水槽）

- 水道施設である**浄水場**や**給水所**のほか、公園や都立学校の校庭の下に水を貯めておく**応急給水槽**など、**都内213箇所（概ね半径２km内に1箇所）**に災害時給水ステーションを開設します。
- 応急給水活動は、東京都水道局と**区市町等が協力して**行います。





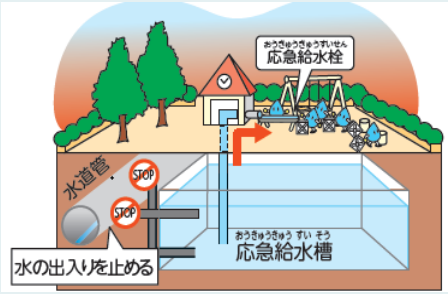


応急給水槽

水道施設と応急給水槽合わせて、**都民（約1400 万人）の約３週間分以上**に相当する飲料水を確保しています。
※１人１日当たり３リットルで計算した場合

応急給水槽の仕組み

- 応急給水槽は水道管とつながっており、水が入れ替わる仕組みとなっているので、**常に新鮮な水**が供給されています。
- 地震や災害などが起きたときは、**水の出入りを止め、貯留された水により応急給水**を行います。



■避難所等

- 給水拠点での応急給水を補完するために、避難所に設置された応急給水栓（**避難所応急給水栓**）や、避難所付近のあらかじめ指定した**消火栓等**を用いて、災害時給水ステーションを開設します。
- また、区市町により設置された**仮設水槽**に、給水車等で水を補給して開設することもあります。
- 応急給水活動は区市町が行います。



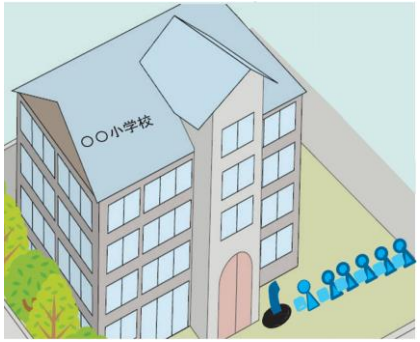
避難所応急給水栓



消火栓からの応急給水



仮設水槽からの応急給水



災害時給水ステーションの確認方法

■東京都水道局アプリ



東京都水道局アプリでは、災害時に水をお配りする**「災害時給水ステーション（給水拠点）」**の**場所**や**開設状況**を確認できます。
また、東京都防災マップへのリンクから、避難所の位置情報を確認できます。

スマートフォンの**ＧＰＳ機能**を元に
現在地から近い順に表示されます。
（ＧＰＳオフでも区市町単位で検索可能）

災害時には開設状況を表示します。
また、**地図アプリ**と連携した
経路案内も利用可能です。

災害時給水ステーションの周辺地図について
ＰＤＦ形式で取得可能です。

経路案内イメージ



水道局アプリはこちらから!

＜iPhone版＞　＜Android版＞

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

水道局アプリは、スマートフォンのほか、**パソコン等のWeb**からもご利用いただけます。
アプリの詳しい情報については、東京都水道局ホームページをご覧ください。
https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/tetsuduki/suidoapp/

■東京都防災アプリ



防災マップで、災害時給水ステーションの場所や避難所の位置情報を確認できます。

iPhone　Android

■その他の確認方法

水道局ホームページ	拡声器付広報車
東京都 水道・下水道Ｘ	区市町による災害関連情報
水道局の各庁舎の掲示物	報道機関からの情報
水道局が配布するビラ等	ラジオ番組（ラジオ災害情報交差点）

災害時給水ステーション（給水拠点）一覧【23区】



応急給水は東京都水道局と区等が協力して行います！

- 区部の給水拠点は、公園や都立学校等の地下にある**応急給水槽**が多くを占めています。
- 応急給水槽では、**区**が必要な**資器材の設置**と**応急給水**を行います。
- **浄水場・給水所等**では、敷地の一部に設けた応急給水エリアで、**水道局**及び**政策連携団体**と**区**職員によって**応急給水**を行います。これらの施設では、周辺住民の皆さんのうち、**区**に**あらかじめ指定を受けた方々**により、水道局や区職員の参集を待たずに応急給水を行うこともでき(指定従事者制度)、そのための訓練も実施しています。



【水道局設置分】

令和8年6月1日現在

番号	区名	施設名		所在地
1	千代田区	区立東郷元帥記念公園	★	三番町18番地
2		都立日比谷公園	★	日比谷公園1番地
3		都立一橋高等学校	☆	東神田一丁目12番13号
4	中央区	晴海給水所	□	晴海一丁目6番3号
5		区立あかつき公園	★	築地七丁目19番1号
6		区立堀留児童公園	☆	日本橋堀留町一丁目1番16号
7	港区	芝給水所	□	芝公園三丁目6番7号
8		都立青山公園	★	六本木七丁目23番
9		シティハイツ桂坂(港区防災活動拠点)	☆	高輪二丁目13番8号
10	新宿区	淀橋給水所	□	西新宿二丁目10番1号
11		区立鶴巻南公園	★	早稲田鶴巻町507番
12		区立百人町ふれあい公園	★	百人町三丁目28番
13	文京区	本郷給水所	□	本郷二丁目7番29号
14		区立教育の森公園	★	大塚三丁目29番
15	台東区	都立上野恩賜公園	★	上野公園8番51号
16		区立隅田公園山谷堀広場	☆	浅草七丁目1番
17	墨田区	区立文花公園	★	文花一丁目27番5号
18		区立両国公園	☆	両国四丁目25番3号
19	江東区	亀戸給水所	□	亀戸二丁目6番50号
20		豊住給水所	□	東陽六丁目1番8号
21		江東給水所	□	新砂三丁目6番17号
22		有明給水所	□	有明三丁目1番8号
23		区立南砂三丁目公園	★	南砂三丁目14番21号
24		都立辰巳の森海浜公園	★	辰巳二丁目1番
25	品川区	区立戸越公園	★	豊町二丁目1番30号
26		区立しおじ公園	★	八潮五丁目6番
27		都立八潮高等学校	☆	東品川三丁目27番22号
28	目黒区	八雲給水所	□	八雲一丁目1番
29		都立林試の森公園	★	下目黒五丁目37番
30	大田区	馬込給水所	□	西馬込二丁目15番6号
31		上池台給水所	□	上池台一丁目48番25号
32		東海給水所	□	東海一丁目3番12号
33		区立西六郷三丁目公園	★	西六郷三丁目16番16号
34		区立萩中公園	★	萩中三丁目25番26号
35		区立都堀公園	★	大森東一丁目30番
36		区立下丸子公園	★	下丸子四丁目21番
37		区立女塚なかよし公園	☆	池上五丁目24番
38	世田谷区	砧浄水場	□	喜多見二丁目9番1号
39		砧下浄水所	□	鎌田二丁目4番1号
40		和田堀給水所(注1)	□	大原二丁目30番43号
41		玉川給水所	□	玉川田園調布一丁目19番1号
42		大蔵給水所	□	砧二丁目8番1号
43		駒沢給水所	□	弦巻二丁目41番5号
44		区立こどものひろば公園	★	下馬二丁目31番4号
45		区立蘆根公園	★	船橋六丁目21番
46		都立祖師谷公園	★	上祖師谷四丁目2番
47		区立中町二丁目公園	☆	中町二丁目34番1号
48		上北沢給水所	□	上北沢五丁目2番1号
49	渋谷区	都立代々木公園	★	代々木神園町2番1号
50		都立第一商業高等学校	☆	鉢山町8番1号
51		区立景丘公園	☆	恵比寿四丁目19番21号
52	中野区	区立弥生公園	☆	弥生町五丁目4番
53		区立江古田の森公園	☆	江古田三丁目14番
54		区立みずのとう公園	☆	江古田一丁目3番
55	杉並区	和泉水圧調整所	□	和泉二丁目5番23号
56		上井草給水所	□	上井草三丁目22番12号
57		都立和田堀公園	★	大宮二丁目26番
58	杉並区	区立蚕糸の森公園	★	和田三丁目55番
59		区立昭栄公園	★	高井戸西一丁目12番
60		区立井草森公園	★	井草四丁目12番1号
61		区立馬橋公園	☆	高円寺北四丁目35番5号
62		都立善福寺川緑地	☆	成田西三丁目14番
63	豊島区	区立西池袋公園	★	西池袋三丁目20番1号
64		都立文京高等学校	☆	西巣鴨一丁目1番5号
65	北区	区立桐ヶ丘中央公園	★	桐ヶ丘一丁目8番
66		区立滝野川公園	★	西ヶ原二丁目1番
67		区立北運動公園	★	神谷二丁目47番6号
68	荒川区	南千住給水所	□	南千住八丁目2番6号
69		区立日暮里南公園	★	東日暮里五丁目19番1号
70	板橋区	三園浄水場	□	三園二丁目10番1号
71		板橋給水所	□	加賀一丁目17番1号
72		大谷口給水所	□	大谷口一丁目4番
73		都立城北中央公園	★	桜川一丁目1番
74		区立城北公園	★	坂下二丁目19番1号
75		都立板橋高等学校	☆	大谷口一丁目54番1号
76		都立赤塚公園	☆	高島平三丁目1番
77		区立西徳第二公園	☆	西台三丁目42番1号
78	練馬区	練馬給水所	□	光が丘二丁目4番1号
79		区立大泉公園	★	大泉学園町六丁目25番
80		区立学田公園	★	豊玉南三丁目32番
81		区立はやいち公園	☆	早宮一丁目47番11号
82		区立みんなの広場公園	☆	石神井町八丁目41番
83	足立区	小右衛門給水所	□	中央本町三丁目8番1号
84		区総合スポーツセンター	★	東保木間二丁目27番1号
85		区立千住スポーツ公園	★	千住緑町二丁目1番1号
86		区立調訪木東公園	★	西新井三丁目25番
87		区立大谷田南公園	★	中川四丁目42番1号
88		区立北鹿浜公園	★	鹿浜三丁目26番
89		都立舎人公園	☆	舎人公園1番1号
90		区立北宮城町公園	☆	扇二丁目37番1号
91		江北給水所	□	江北五丁目5番
92	葛飾区	金町浄水場	□	金町浄水場1番1号
93		水元給水所(都立水元公園内自由広場)	□	水元公園4番
94		区立上千葉公園	★	東堀切三丁目25番1号
95		区立新小岩公園	★	西新小岩一丁目1番3号
96		区立渋江東公園	☆	東四つ木二丁目15番
97	江戸川区	西瑞江給水所	□	東瑞江一丁目26番2号
98		葛西給水所	□	北葛西三丁目9番
99		都立篠崎公園	★	上篠崎一丁目25番
100		区立宇喜田中央公園	★	北葛西四丁目15番
101		区立小岩公園	★	北小岩六丁目43番
102		都立大島小松川公園	★	小松川一丁目7番
103		都立葛西南高等学校	☆	南葛西一丁目11番1号
104		一之江境香亭	☆	一之江五丁目14番

（注1）和田堀給水所は、令和4年12月19日から運用を停止している。

【都市整備局等所管分】

番号	区名	施設名	所在地
213	墨田区	白鬚東地区防災拠点	堤通二丁目

※白鬚東地区防災拠点は、既存の貯水槽を給水拠点に位置づける。

□：浄水場・給水所
★：応急給水槽（1,500m3槽）
☆：小規模応急給水槽（100m3槽）

災害時給水ステーション（給水拠点）一覧【多摩地区】



◯：震災対策用応急給水槽等
□：浄水場・給水所
▭：運搬給水拠点（車両への水の補給施設）

応急給水は東京都水道局と市町等が協力して行います！



- 多摩地区の給水拠点は、**浄水所・給水所等**が多くを占めています。
- 浄水所・給水所等では、敷地の一部に設けた応急給水エリアで、**水道局及び政策連携団体**と**市町**の職員によって応急給水を行います。
- また、一部の公園等に設けられた**応急給水槽**では、**市町**の職員が応急給水を行います。
- これらの施設では、**周辺住民の皆さんのうち、市町にあらかじめ指定を受けた方々**により、水道局や市町職員の参集を待たずに応急給水を行うこともでき、そのための訓練も実施しています。興味がございましたら、お住まいの市町にお問い合わせください。

令和8年6月1日現在

【都営水道市町】

番号	市町名	施設名		所在地
105	八王子市	鑓水給水所	□	鑓水401番地
106		西寺方給水所	□	西寺方町1006番地167
107		狭間給水所	□	狭間町1994番地478
108		犬目第二給水所	□	犬目町710番地
109		高月給水所	□	高月町2240番地
110		散田給水所	□	散田町二丁目6番地1
111		東浅川給水所	□	東浅川町674番地
112		寺田配水所	□	寺田町1359番地4
113		元八王子配水所	□	元八王子町三丁目2750番地487
114		北野給水所	□	北野町595番地3
115		南陽台配水所	□	南陽台三丁目5番1号
116		椚原給水所	□	椚原町1294番地3
117		暁町配水所	□	暁町三丁目3番1号
118		久保山配水所	□	久保山町二丁目15番地1
119		大船給水所	□	七国三丁目56番1号
120		鑓水小山給水所	□	鑓水二丁目92番地
121		南大沢給水所	□	南大沢四丁目25番地
122		都立陵南公園	★	長房町1572番地
123		椚田ポンプ所	□	椚田町545番地
124	立川市	柴崎給水所	□	柴崎町一丁目1番41号
125		立川栄町浄水所	□	栄町五丁目38番地の5
126		立川砂川給水所	□	砂川町六丁目41番地の1
127		市立松中公園	☆	西砂町一丁目19番地の12
128	三鷹市	上連雀給水所(西配水場)	□	上連雀九丁目41番4号
129		三鷹新川給水所(東配水場)	□	新川二丁目1番15号
130	青梅市	日向和田浄水所	□	日向和田二丁目370番地
131		千ヶ瀬浄水所	□	千ヶ瀬町三丁目464番地の1
132		御岳山第一配水所	□	御岳山170番地の3
133		成木配水所	□	成木八丁目690番地の3
134		新町給水所	□	新町五丁目24番地の1
135		二俣尾配水所	□	二俣尾五丁目107番地の2
136		城山配水所	□	東青梅六丁目95番地の1
137		梅郷配水所	□	和田町二丁目578番地の1
138	府中市	府中武蔵台浄水所及び府中武蔵台ポンプ所	□	武蔵台二丁目7番地及び武蔵台一丁目25番地
139		若松給水所	□	若松町四丁目10番地
140		幸町給水所	□	幸町二丁目24番地
141		府中南町給水所	□	南町一丁目50番地
142		都立武蔵野公園	★	多磨町三丁目2番地
143	調布市	上石原配水所	□	上石原一丁目34番地7
144		仙川配水所	□	仙川町三丁目6番地27
145		深大寺給水所	□	深大寺南町五丁目56番地1
146		調布西町給水所	□	西町717番地
147	町田市	小野路給水所	□	小野路町2637番地1
148		原町田浄水所	□	原町田五丁目13番3号
149		滝の沢給水所	□	旭町二丁目7番7号
150		野津田浄水所(注1)	□	野津田町3398番地
151		市立つくし野セントラルパーク	★	つくし野三丁目19番地
152		市立鶴川中央公園	☆	鶴川六丁目6番地
153		成瀬コミュニティセンター	☆	西成瀬二丁目49番1号
154		市立忠生公園	☆	忠生一丁目3番地
155		市立三輪中央公園	☆	三輪緑山三丁目21番地
156	小金井市	梶野配水所	□	梶野町五丁目10番33号
157		上水南給水所	□	小平市上水南町三丁目12番36号
158	小平市	小川給水所	□	小川町一丁目847番地
159		市立津田公園	☆	津田町三丁目39番
160	日野市	市立大坂西公園	☆	大坂上一丁目14番地の4
161		多摩平給水所	□	多摩平二丁目7番地の2
162		程久保給水所	□	程久保五丁目10番地の1
163		三沢配水所	□	三沢905番地の2
164		日野旭が丘給水所	□	旭が丘二丁目42番地の2

(注1) 野津田浄水所は、令和５年１月４日から運用を停止している。

番号	市町名	施設名		所在地
165	東村山市	八坂給水所	□	富士見町五丁目4番地46
166		東村山浄水場	□	美住町二丁目20番地236
167		美住給水所	□	美住町二丁目13番地4
168		市立東村山運動公園	★	恩多町一丁目9番地5
169		市立秋津小学校	☆	秋津町三丁目48番地1
170	国分寺市	東恋ヶ窪配水所	□	東恋ヶ窪二丁目5番地8
171		国分寺北町給水所	□	北町四丁目1番地5
172	国立市	国立中給水所	□	中三丁目8番地1
173		谷保給水所	□	谷保1462番地1
174	西東京市	芝久保給水所	□	芝久保町五丁目9番1号
175		保谷町給水所	□	保谷町一丁目5番24号
176		西東京栄町配水所	□	栄町二丁目7番6号
177	福生市	福生武蔵野台給水所	□	武蔵野台二丁目32番地
178		市立明神下公園	★	南田園一丁目12番地1
179	狛江市	和泉本町給水所	□	和泉本町四丁目6番1号
180	東大和市	上北台給水所	□	上北台一丁目801番地1
181		東大和給水所	□	桜が丘三丁目44番地
182	清瀬市	清瀬元町配水所(注2)	□	元町二丁目27番12号
183		市立第3保育園	☆	旭が丘三丁目755番地1
184		清瀬梅園給水所	□	梅園一丁目3番
185	東久留米市	南沢給水所	□	南沢三丁目9番21号
186		滝山給水所	□	滝山六丁目1番1号
187	武蔵村山市	学園配水所	□	学園一丁目5番地の7
188		中藤配水所	□	中藤二丁目1番地の3
189		市立中原公園	★	中原二丁目21番地の4
190	多摩市	桜ヶ丘配水所	□	桜ヶ丘四丁目10番地
191		落合配水所	□	中沢一丁目12番地
192		愛宕配水所	□	愛宕二丁目51番地
193		南野給水所	□	南野二丁目16番地
194		聖ヶ丘給水所	□	聖ヶ丘四丁目1番地
195		市立並木公園	★	和田1551番地1
196	稲城市	坂浜配水所	□	坂浜三丁目13番12号
197		向陽台給水所	□	向陽台六丁目16番地
198		若葉台給水所	□	若葉台一丁目19番地
199	あきる野市	秋留台給水所	□	秋川三丁目2番地10
200		菅生給水所	□	菅生683番地
201		上代継浄水所	□	上代継407番地
202		戸倉給水所	□	戸倉348番地1
203		小峰台配水所	□	小峰台40番地
204		伊奈配水所	□	伊奈372番地3
205	瑞穂町	石畑給水所	□	石畑2301番地
206	日の出町	文化の森給水所	□	平井3075番地

【都営水道市町以外】

番号	市町名	施設名		所在地
207	武蔵野市	第一浄水場(注3)	□	吉祥寺北町四丁目11番46号
208		第二浄水場(注3)	□	桜堤一丁目6番6号
209	昭島市	西部配水場	□	緑町二丁目17番16号
210		東部配水場	□	朝日町四丁目23番28号
211	羽村市	第一配水場	□	緑ヶ丘二丁目18番地5
212		小作浄水場	□	小作台四丁目2番地1

(注2) 清瀬元町配水所は、令和5年8月25日から運用を停止している。

(注3) 運搬給水拠点（給水車等の車両への水の補給施設）
拠点給水は、市立小中学校及び広域避難場所で行う。

□：浄水場・給水所
★：応急給水槽（1,500m³槽）
☆：小規模応急給水槽（100m³槽）

今日からできる災害対策（水のくみ置き）

災害時に備えて、日頃から水のくみ置きをお願いします！

地震等の災害時に何より役立つのは、くみ置きした水道水です。
飲料水や生活用水は、人が生きる上で欠かせないものです。日頃から水道水のくみ置きをお願いします。

ポイント1　蓋のできる容器に口元まで入れる

- ✓ **清潔で蓋のできる容器**にできるだけ空気に触れないよう、**口元まで一杯に**水道水を入れてください。
- ✓ 浄水器を通したり、沸かしたりすると、消毒用の塩素が除去されてしまいます。
  必ず蛇口から注ぎ、沸かさずに保存しましょう
- ✓ くみ置きした水は雑菌が入らないよう、
  直接口を付けずに**コップなどに注いで**から飲みましょう。



ポイント2　１人１日３リットル

- ✓ 人間に必要な水の量は**１人１日３リットル**です。
  この量を目安に**３日分程度**のくみ置きをしましょう。



ポイント3　常温で3日間、冷蔵庫では10日間

- ✓ 塩素の消毒効果は、直射日光を避けて**常温で保存すれば３日程度**、**冷蔵庫で保存すれば10日程度**持続します。日付をメモしておくと便利です
- ✓ 保存期間が過ぎたら、掃除や洗濯などにお使いください。

ポイント4　生活用水の備えも



- ✓ 飲料水とともに、掃除や洗濯、トイレなどに使う**生活用水**の備えも必要です。
- ✓ 日頃から、水道水を入れた**ポリタンク**を用意したり、**お風呂の水をいつも張っておく**(抜かずに貯めておく)などの備えをしておきましょう。

東京水道危機対応力強化計画（体系的な訓練計画）

実際の災害では訓練以上のことはできない。訓練をしていなければ、発災時は何もできない。

⇒ 経験・検証を一つひとつ積み上げ、各部署・職員の危機対応力の礎とする。

自然災害やテロ、新興感染症など各災害への組織及び職員の危機対応力を向上させるため、「東京水道危機対応力強化計画」を策定し、**年間を通して体系的かつ網羅的に訓練を実施**しています。そして、**得られた課題を各種マニュアル等に反映**し、**継続的に危機対応力の強化**を図っています。

年間方針（PDCAサイクルの実践）



主な訓練概要

訓練の想定		実施単位	訓練の内容
自然災害	首都直下地震	全職場	地震発生後の初動対応訓練（被害状況の把握、復旧計画の作成など）
			夜間・休日などの勤務時間外の発生を想定した水道局全体の参集訓練
		各職場単独	住民、学生及び区市町職員と連携した応急給水訓練など
			首都中枢機関等への供給ルート確保のための活動訓練
		他の都市と連携した訓練	全国の大都市水道局の救援部隊の受入訓練
			隣接事業体との連絡管の相互融通訓練
	他の地域での災害	救援隊の派遣	関東地方の水道局への派遣訓練
			南海トラフ巨大地震等を想定した遠方の大都市への派遣訓練
テロ	施設へのテロ	各職場単独	各浄水場における警察・消防と連携したテロ対処訓練
	サイバーテロ	全職場	標的型メール攻撃への対応訓練
		国の主催	内閣官房が主催する演習訓練
		各職場単独	浄水場等の制御系システムへのサイバーテロへの演習訓練
突発事故発生		各所個別訓練	水道事故や漏水事故等の突発事故への対処訓練

年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防災担当者研修	各種訓練を順次実施										
		危機管理に関わる全職員への研修									
							訓練で判明した課題への改善策を各種マニュアルに反映				
										事業所レベルを含めたより詳細なマニュアルの改訂	

断水時にも即時に都民への水供給体制を確保

■多様な訓練により職員の危機対応力を強化

震災への備えとして、日頃から繰り返し訓練を重ねることが大切です。**様々な災害を想定した訓練**、**自治体や住民の方と連携した訓練**などを年間を通して実施し、「**公助**」のみならず「**共助**」による**危機対応力の強化**を図っています。



▲休日発災対応訓練（震災情報システムを活用した被害情報収集の様子）

休日の発災も想定

災害は勤務時間外でも発生します。**夜間**や**休日**の発災を想定した訓練を行い、職員が少ない**シビアな状況**にも備えています。



◀水道管応急復旧訓練

模擬的に漏水させた水道管について、破損した箇所に修理用金具を被せて迅速に応急修理を行っています。

多様な主体と連携

- 災害等で断水した時には、災害時給水ステーションで水をお配りします。当局職員だけでなく、応急給水活動を行う**区市町**などの職員や、応急給水を受ける**地域住民**など、**多様な主体と連携**して訓練を実施しています。
- 訓練では、**仮設の蛇口を組み立て**、水道水に含まれる**塩素の量を確認する**など、**災害時給水テーションの開設手順の習熟**を図っています。
- 住民の方には、**給水を受ける手順の確認**や**水の重さの体感**をしてもらうなど、実践的なものとしています。



▲災害時給水ステーションでの応急給水訓練



▲高校生と連携した応急給水訓練
小池知事が水道水6L入りの運搬用袋を背負って重さを体感

命の危機に即応する訓練

- 大規模災害による広域断水が発生した際の命の危機に即応するために、**医療機関等**を優先して、東京都が所有する**給水車**30台と全国の水道事業体や自衛隊等が所有する給水車で応急給水を行うこととしています。
- 要請があった場合に迅速に応急給水が行えるよう、**給水車による医療機関等への応急給水を想定した訓練**を繰り返し実施しています。



▲給水車は都内13箇所に分散配備（写真は都庁配備車）



▲高所揚水訓練

■365日・24時間体制で活動する水道緊急隊

- **水道緊急隊**は、震災等の発災直後における**応急給水活動**や**管路**の**復旧作業**等を迅速かつ機動的に行う役割を担っています。
- 震災時は、速やかに現場へ出動し、**首都中枢機関**（政治・行政・経済等の中枢機関）や**災害拠点病院**など**重要施設への水の供給ルートをいち早く確保**します。



▲水道緊急隊の現場出動の様子

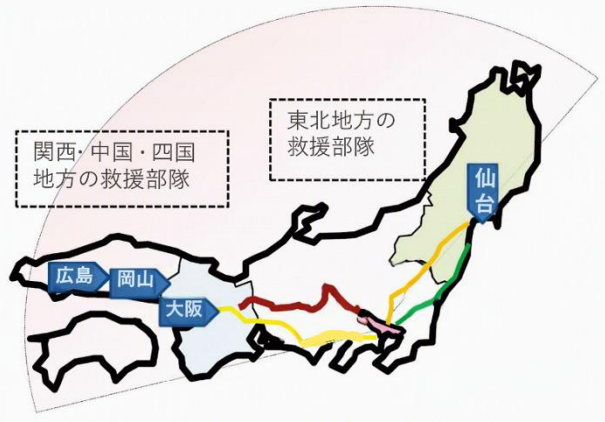


▲首都中枢機関等への水道水供給ルートを確保

全国の水道事業体からの受援体制

■全国の水道事業体からの受援体制

- 発災時の応急対策を迅速・的確に実施するため、公益社団法人日本水道協会による全国相互応援の枠組み等により、**水道事業体間での相互応援体制**が構築されています。加えて、**仙台市**、**大阪市**、**岡山市**及び**広島市と**、発災時に相互に応援活動を行う覚書を締結しています。



▲他水道事業体との連携強化
（首都直下地震等発生時の初動救援部隊）

水の相互融通

- 隣接する埼玉県及び川崎市と水道水を相互に融通する**連絡管**を整備しており、大規模な地震や水源水質事故などの非常時には、**水道水を相互に融通**することができます。
- 毎年、**両都市と運用訓練**を実施し、いざというときに備えています。



▲埼玉県及び川崎市との水の相互融通

他事業体と連携した取組み

- 他事業体と連携して**定期的に訓練等**を実施し、発災時に円滑に応援を受けられるよう備えています。



▲首都直下地震対処**5都市水道**合同防災訓練



▲他事業体による病院への
応急給水（都立広尾病院）



▲大都市水道局
大規模災害対策検討会

様々な状況を想定した訓練

- 震災等により陸路での給水確保が困難な状況を想定し、国土交通省関東地方整備局、海上保安庁、横浜市水道局と合同で海路による巡視船を活用した給水支援訓練を実施しています。



▲巡視船から給水車への給水



▲仮設給水槽の組立訓練

被災地への救援隊派遣

■東京水道災害救援隊

（通称名：東京ウォーターレスキュー）

- 近年、日本各地で、大規模な地震災害や豪雨災害など、大規模な災害が頻発しています。こうした災害による水道施設の被害に対し、東京都水道局では、被災事業体からの救援要請に可能な限り応えてきました。
- 平成29年には、被災地からの支援要請に即応できる体制をあらかじめ確保する仕組みとして、**東京ウォーターレスキュー**を創設し、より迅速な救援隊の派遣が可能になっています。



▲平成28年熊本地震　応急復旧現場での漏水調査の様子（熊本県益城町）



▲令和6年能登半島地震 応急給水の様子（石川県輪島市）

シンボルマーク

被災地への主な派遣実績

（工事事業者等を含む。）

発生年	災害名	活動内容	派遣人員数
平成７年	阪神・淡路大震災	応急給水、応急復旧	1,256名
平成16年	新潟県中越地震	応急給水、応急復旧	105名
平成19年	新潟県中越沖地震	応急復旧	76名
平成23年	東日本大震災	応急給水、応急復旧	165名
平成27年	関東・東北豪雨	応急復旧、水質検査	25名
平成28年	熊本地震	応急復旧	111名
平成30年	西日本豪雨	水質検査	８名
令和元年	房総半島台風・東日本台風	応急給水	46名
令和４年	台風第15号	応急給水	18名
令和６年	能登半島地震	応急給水、応急復旧	1,725名
令和７年	台風22号・23号	応急給水、応急復旧、水質検査	207名

八丈町への救援隊派遣

- 令和７年10月に伊豆諸島に非常に強い勢力で接近・通過した台風22号・23号の影響で、八丈町では、最大で約4,100世帯が断水となりました。
- 東京都水道局では、八丈町からの応援要請を受け、発災直後から職員と給水車を八丈町へ派遣し、応急給水活動を行いました。
- 被災した山間の水源の復旧や必要な水量を確保するため、様々な職種の技術職を現地に派遣し、復旧計画の策定支援や漏水調査を実施しました。



▲夜間の緊急要請を受け応急給水を実施



▲海上保安庁の巡視船から給水車への注水作業



▲水量確保のための漏水調査



▲ドローンを使用した水源周辺調査

- 政策連携団体である東京水道株式会社も参加し、東京水道グループの技術や経験を最大限活用し支援を実施しました。その結果、予定よりも早く断水を解消することができました。

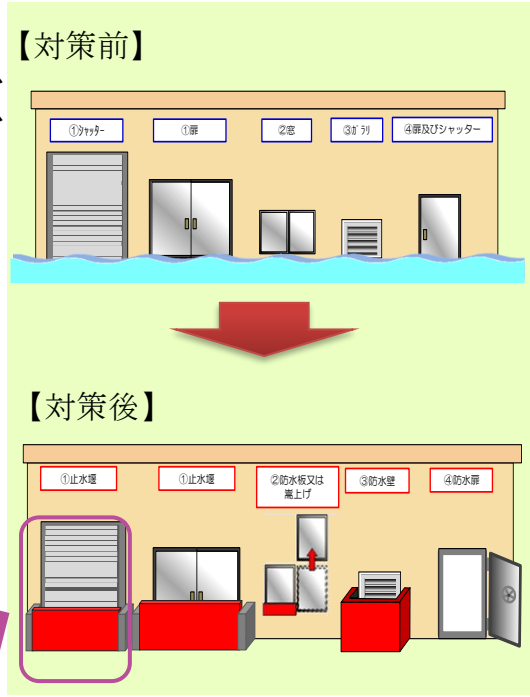
風水害・テロへの対策

風水害 大型台風や集中豪雨に備えた浸水対策

- 国及び都が公表している被害想定に基づき、浸水の恐れがある浄水場や給水所等では、止水堰や防水扉等を設置しています。
- 事務所等の庁舎についても、浸水対策・対応のガイドラインに基づき、建物の点検など日頃から浸水被害への備えを行っています。
- また、強風により窓ガラスが破損する可能性の高い施設に対しては、ガラスフィルムの貼付や強化ガラスの設置などにより、強風被害への対応強化を図ることとしています。



止水堰の設置



令和元年台風第19号による被害への対応

- 令和元年10月の台風第19号による記録的な大雨のため、奥多摩町及び日の出町では、道路崩壊による水道管損傷により、約3,000戸が断水しました。
- 東京都水道局では、仮設水道管の設置等の復旧作業を行うとともに、他事業体の給水車を含む最大19台の給水車で応急給水を行いました。



▲日原街道（平石橋付近）の崩落



▲仮設導水管布設

テロ セキュリティを強化しテロを防ぐ

日頃からの水道施設の警戒態勢を構築するとともに、警察や消防と連携して実動訓練を実施するなど、水道施設へのテロ攻撃にも備えています。

■浄水場テロ対策パートナーシップ



▲水道局・警察・近隣住民による二重・三重の警戒態勢
（浄水場を内・外の両面からガード）

- 浄水場では、監視カメラを増強するとともに、警備員を常駐して不定期の場内巡回を行うなど、テロ等への警戒を強化しています。
- また、「東京都水道局浄水場テロ対策パートナーシップ」制度を構築し、近隣住民の方々や警察等の協力を得て、浄水場の内・外両面からセキュリティを強化しています。

■浄水場でのテロ対策訓練

浄水場への侵入者やドローン飛来などにより、爆発物や毒物の疑いがある不審物が発見されたという想定で、警察への通報、爆発物や毒物の発見・処理、消防署による火災警戒など、対応手順の確認・習熟を図っています。



▲消防署による火災警戒



▲警視庁による爆発物処理

新興感染症への対策

新興感染症 流行期にも安定供給を継続

- 新型インフルエンザをはじめとする新興感染症が発生した場合、ほとんどの人が新型のウイルスに対する免疫を獲得していないため、世界的な大流行となり、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響をもたらすことが懸念されています。
- 東京都水道局では、「**水道局のBCP＜新型インフルエンザ等編＞**」を作成し、あらかじめ新型インフルエンザの**発生段階に応じた活動**を定めるとともに、**発生を想定した訓練**を実施するなど、新型インフルエンザ等の**大規模流行期にも、水道水を安定的に供給**できるよう備えています。

■新型コロナウイルス感染症への対応

令和２年に発生した新型コロナウイルス感染症拡大期では、「東京都水道局新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、局BCPを基に、テレワークや時差出勤による**職員の感染拡大の抑制**、感染拡大状況に応じた**継続業務や縮小業務等の整理**、感染拡大に備えた**浄水場運転要員の確保**など様々な対策を講じ、**水道水の安定供給を継続**しました。



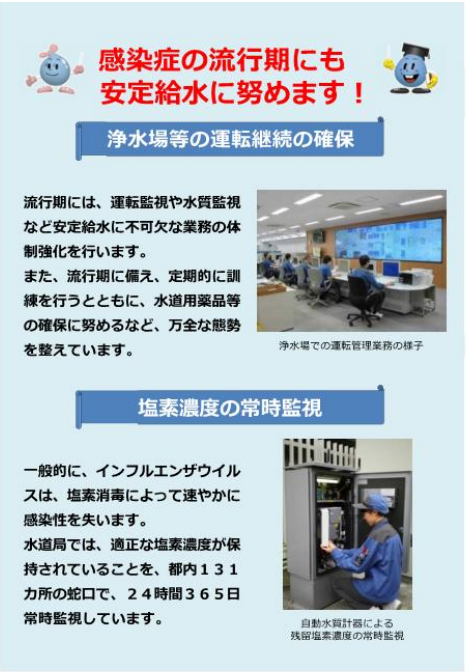
▲新型コロナウイルス感染症対策本部会議の様子



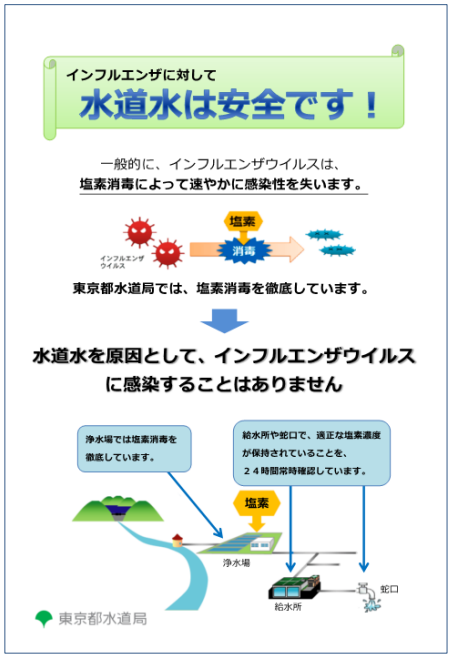
▲広報車による感染対策の呼びかけ

■情報発信

- 一般的にインフルエンザウイルス（コロナウイルスを含む。）は塩素消毒によって速やかに感染性が失われます。東京都水道局では、**水道水の塩素消毒を徹底**しているため、**水道水を原因として、インフルエンザウイルスに感染することはありません。**
- 水道水の安全とともに、お客さまに安心を感じていただけるよう、**局ホームページ**や**SNS**等で情報発信を行っています。



◀ 東京都水道局ホームページ掲載資料 ▼



災害発生時の水道に関する情報は
ホームページ・アプリ・X等よりご確認ください

東京都水道局
ホームページ

http://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp

東京都水道局
アプリ

<iPhone版>　<Android版>

App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

東京都水道・
下水道X

https://x.com/tocho__suido

＜緊急情報（災害・大規模事故等）専用ダイヤル＞
0570-200-987（ナビダイヤル）　※通話料金はかかりません
〇自動音声案内でお知らせします。情報が入り次第、随時更新します。
〇お知らせする情報がない場合は、「情報はありません。」とのガイダンスが流れます。

お客さまセンターのオペレーターとの通話をご希望の場合は、0570-091-100(ナビダイヤル）、
ナビダイヤルをご利用いただけない方は、
03-5326-1101（区部）　042-548-5110（多摩）まで
ご連絡をお願いします。

